

I 旧山川小学校（閉校日：令和3年3月31日）

(1) 学校跡地等の現状

立地	敷地	周辺環境	標高
指宿市山川福元 558 番地 I	校地面積 28,499 m ² うち建物敷地 8,899 m ² うち運動場 19,600 m ²	【東】 山林 【西】 山林 【南】 住宅, 畑地 【北】 山林	70.3m

主な施設

施設名	構造	階数	延床面積	建築年度	築年数
管理教室棟	RC	2	1,681 m ²	S43	54
特別教室棟	RC	2	1,075 m ²	S43	54
体育館	S	1	663 m ²	S44	53

配置図



(2) 地域及びイベント等での利用状況

特になし

(3) 学校跡地の健全性評価

【施設ごとの構造躯体の健全性評価】

基準年：令和2（2020）年

建物基本情報					構造躯体の健全性評価				
建物名	構造	階数	延床面積	築年数	耐震安全性 ^{※1}			長寿命化判定	
					基準	診断	補強	確認年度	コンクリート 圧縮強度 ^{※2}
管理教室棟	RC	2	1,607 m ²	52	旧	済	-	H21	16.6 N/mm ²
(階段)	RC	2	68 m ²	52	旧	済	済	H21	19.7 N/mm ²
(給食荷受室)	S	1	6 m ²	24	新	-	-		
特別教室棟	RC	2	1,075 m ²	52	旧	済	-	H21	19.3 N/mm ²
トイレ	RC	1	33 m ²	52	旧	-	-		
屋内運動場	S	1	663 m ²	51	旧	済	済	H21	24.1 N/mm ²
トイレ	RC	2	56 m ²	37	新	-	-		

※1 耐震安全性の診断の欄は、診断を行われていれば「済」、行われてなければ「未」、耐震診断対象外を「-」とします。

その上で、耐震診断の補強の欄は、耐震補強が行われている場合は「済」、行われてなければ「未」、耐震診断の結果により耐震補強の対象外は「-」とします。

※2 コンクリート圧縮強度とは、そのコンクリートがどれだけの力（重さ）に耐えられるかを示した数値であり、圧縮強度がおおむね13.5 N/mm²以下の施設については、コンクリート強度が著しく低くなっていることを表しています。

【施設ごとの構造躯体以外の健全性評価】

基準年：令和2（2020）年

建物基本情報					構造躯体以外の健全性評価 ^{※3}					
建物名	構造	階数	延床面積	築年数	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 ^{※4}
管理教室棟	RC	2	1,607 m ²	52	C	D	C	B	C	iv
(階段)	RC	2	68 m ²	52	C	D	C	B	-	iv
(給食荷受室)	S	1	6 m ²	24	A	C	A	A	-	i
特別教室棟	RC	2	1,075 m ²	52	A	D	C	B	C	iii
トイレ	RC	1	33 m ²	52	C	D	B	B	B	iii
屋内運動場	S	1	663 m ²	51	A	A	B	A	-	i
トイレ	RC	2	56 m ²	37	B	D	C	B	A	iii

※3 劣化状況評価：A（概ね良好）、B（部分的に劣化）、C（広域的に劣化）、D（早急に対応する必要がある）

※4 健全度：i（80点以上）、ii（60～79点）、iii（40～59点）、iv（40点未満）

（令和3年3月「指宿市学校施設長寿命化計画」p.58より一部抜粋）